

令和 7 年度北区健康福祉課主要事業（12 月末現在）

基本目標 1	気づきあい・思いやり・助け合いの意識を持った地域づくり		
基本方針 2	お互いに思いやり、助け合える関係を作ろう		
	2 地域包括ケアシステムの推進 (モデルハウスの運営) (高齢介護係)	・・・	P. 1
基本目標 2	つながり、交流し、支えあう地域づくり		
基本方針 2	地域での相談体制、ネットワークを広げよう		
	2 地域包括ケアシステムの推進 (支え合いのしくみづくり会議の開催) (高齢介護係)	・・・	P. 2
	3 出張児童館事業 (児童福祉担当)	・・・	P. 5
	多世代交流事業 ひとやすみ Y&M (児童福祉担当)	・・・	P. 7
基本目標 3	だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくり		
基本方針 1	地域福祉活動の人材を発掘・育成しよう		
	2 児童虐待防止の啓発 「要保護児童対策地域協議会研修会」(こども支援担当)	・・・	P. 8
基本方針 2	だれもが参加し、活躍できる機会をつくろう		
	1 ふゆっこまつり開催 「第 18 回北区ふゆっこまつり」(児童福祉担当)	・・・	P. 10
基本目標 4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり		
基本方針 1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう		
	1 各種がん検診の周知 (健康増進係)	・・・	P.1 2
	2 特定健康診査の受診率向上 (健康増進係)	・・・	P.1 3
	5 北区もの忘れ検診 (健康増進係)	・・・	P.1 5
	6 北区てくてくウォーク (健康増進係)	・・・	P.1 7
	7 健康増進普及講習会 (健康増進係)	・・・	P.1 8
	8 生活習慣病予防教室 (健康増進係)	・・・	P.2 0
	9 フレイル予防 (健康増進係)	・・・	P.2 2

令和7年度北区健康福祉課主要事業

基本目標1	気づきあい・思いやり・助けあいの意識を持った地域づくり		
基本方針2	お互いに思いやり、助けあえる関係をつくろう		
2	事業名	地域包括ケアシステムの推進 (モデルハウスの運営)	高齢介護係
事業概要	<p>[事業の目的] 住民同士の支え合いのしくみづくりを進めるために、地域包括ケア推進の拠点としてモデルハウスを設置し、地域の茶の間の運営や、生活支援、介護予防活動などを実施するとともに、その活動ノウハウの普及を図る。</p> <p>[事業内容] 北区地域包括ケア推進モデルハウス「松浜こらぼ家」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設日 平成29年3月23日 ・開設場所 北区松浜本町2-13-7 ・運営団体 松浜こらぼ家運営委員会 代表 上松 鉄雄 ・実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ティールーム … 平日月・水・金 午前10時から午後3時 利用料無料(コーヒー100円、ケーキ120円) こらぼやバザール、いきいきこらぼ体操 展示会・作品展 保健師による健康相談(年6回) 作業療法士による生活相談(年6回) 		
	事業実績	<p>[事業実績] ・開設日及び時間 平日月・水・金 午前10時から午後3時</p> <p>[課題と今後の方向性] 利用者は、他者との交流を楽しみに通っている。ケアマネジャーと支え合いのしくみづくり推進員が連携して利用に繋がった事例があったり、松浜で開催したウォーキングサロンのお茶の間として利用したりと、地域で交流できる居場所として欠かせないものとなっている。引き続き支え合いのしくみづくり推進員と連携しながら支援していく。</p>	

令和7年度北区健康福祉課主要事業

基本目標2	つながり、交流し、支えあう地域づくり		
基本方針2	地域での相談体制、ネットワークを広げよう		
2	事業名	地域包括ケアシステムの推進 (支え合いのしくみづくり会議の開催)	高齢介護係
事業概要	<p>[事業の目的] 地域における支え合いのしくみづくり、支え合い活動の推進を図るため区域および日常生活圏域ごとに「支え合いのしくみづくり会議（協議体）」を設置し、コーディネート役である支え合いしくみづくり推進員（生活支援コーディネーター）を配置する。</p>		
	<p>[事業内容] 区域（第1層）支え合いのしくみづくり会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置 平成27年12月25日 ・構成団体 北区自治協議会、北区民生委員児童委員連絡協議会、北区老人クラブ連合会、北区豊栄地区コミュニティ協議会、北地区連合自治振興会、シルバー人材センター、JA新潟市、社会福祉法人、居宅介護支援事業者連絡会、JA新潟厚生連豊栄病院、豊栄商工会、北新潟商工振興会、新潟医療福祉大学、にいがた北青年会議所、北区社会福祉協議会、北区健康福祉課 ・事務局 北区社会福祉協議会 ・支え合いのしくみづくり推進員 北区社会福祉協議会 小林 湧 <p>日常生活圏域（第2層）支え合いのしくみづくり会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置「松浜・南浜・濁川圏域会議」 平成28年10月11日 「葛塚・木崎・早通圏域会議」 平成28年 8月 5日 「岡方・長浦圏域会議」 平成28年12月16日 ・構成団体 圏域内コミュニティ協議会、圏域内民生委員児童委員協議会、圏域内老人クラブ代表団体、社会福祉法人、居宅介護支援事業者連絡会、地域包括支援センター、豊栄商工会、北新潟商工振興会、民間企業、医師会推薦者、北区社会福祉協議会 ・支え合いのしくみづくり推進員 松浜・南浜・濁川圏域 愛宕福祉会 白川 弘美 葛塚・木崎・早通圏域 北区社会福祉協議会 三浦 美穂子 岡方・長浦圏域 豊聖福祉会 本間 啓幸 		

事業実績	<p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月7日、松浜市 de ウォーキングサロンを実施。参加者同士がコミュニケーションをとりながら市場を散策、そして市場周辺のウォーキングを行った。その後こらぼ家で開催したお茶の間でも活発な情報交換が行われた。社会活動への参加希望の声も多く、活動の担い手育成のきっかけにもなった。 ・7月4日、地域の茶の間交流会 in 北区を開催。支え合いのしくみづくり推進員による「地域の茶の間の役割と効果」についての講話の後、活動中の地域の茶の間の活動紹介が行われた。参加者からは、今後の地域の茶の間運営につながる意見が多く聞かれた。 ・支え合いのしくみづくり広報誌を区内全戸に配布。 9月：第11号 2月：第12号 ・11月18日、住民主体の支え合い活動研修会を開催し自治・町内会や介護支援事業所等から多数の参加があった。実際に活動している団体からの発表により、活動の大切さが伝わった。 <p>区域（第1層）支え合いのしくみづくり会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月15日 第2層協議体進捗状況報告 支え合いのしくみづくり出前講座等開催状況報告 ウォーキングサロン、地域の茶の間交流会の開催報告 支え合いのしくみづくり広報誌についてなど ・次回3月11日開催予定 <p>日常生活圏域（第2層）支え合いのしくみづくり会議</p> <p>「松浜・南浜・濁川圏域会議」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月8日 各地区部会活動状況報告 地域の茶の間や集いの場、広報誌、交流会等について情報共有 医師の講話 ・次回2月4日開催予定 <p>「葛塚・木崎・早通圏域会議」2月10日開催予定</p> <p>「岡方・長浦圏域会議」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月26日 ウォーキングサロンほか研修会等の実施報告 支え合いのしくみづくり広報誌第11号発行について いろいろ岡方サロンについて 長浦コミュニティ委員会の取り組みについて
------	---

・次回3月開催予定

[課題と今後の方向性]

一人暮らし高齢者が増加していることもあり、今まで以上に地域全体で高齢者を支えるしくみづくりの推進が求められている。各圏域ごとに、地域で必要とされる活動への取り組みが進められている。今後も支え合いのしくみづくり推進員を中心に住民同士で支え合う活動を支援していく。



令和7年度北区健康福祉課主要事業

基本目標2	つながり、交流し、支えあう地域づくり		
基本方針2	地域での相談体制、ネットワークを広げよう		
3	事業名	出張児童館事業	児童福祉 担当
事業概要	<p>【事業の目的】 小学校や公民館などの既存公共施設や地域施設を活用しながら、児童館のない地域へ児童館職員が出張し、遊びや様々な学び、相談できる場を提供することで、区内全域で子どもの居場所づくりを推進する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>(1) 対象者 18歳未満のすべての子どもを対象とし、児童館の主な利用者である小学生がメインターゲット</p> <p>(2) 実施回数・時間 ・年間240回を目標に実施（令和6年度実績：200回） ・原則、平日及び土曜の週6回、毎日1ヶ所北区内を巡回し、実施。 ・地域ごとに開催日や曜日を固定化するなど子ども達が利用しやすい環境づくりを行う。 平日：午後2時半から午後5時までの2時間半程度（放課後想定） 土曜や長期休み：午前または午後の3～4時間程度 ※時間は各地域や開催場所で柔軟に調整を行う。</p> <p>(3) 開催場所 北区内小中学校、公民館やコミュニティセンターなどの公共施設をはじめ、自治会館や商店街の店舗など地域施設、こども食堂や屋外、イベント会場などで開催場所に捉われないこと柔軟に実施。 ※出張児童館専用車で移動</p>		
	事業実績	<p>【開催実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出張回数 185回（240回見込み） ・出張先 学校・公民館・コミュニティセンター・自治会館など ・延べ利用者 3,151人 <p>【課題と今後の方向性】 開催地域によって利用人数が少ない地域もあるが、人数に関わらず、各地域で定期的な子どもの居場所を確立することが重要と考える。今後も開催場所や内容を工夫しながら利用者増となるよう、事業を継続実施する。</p>	



令和7年度北区健康福祉課主要事業

基本目標2	つながり、交流し、支えあう地域づくり																										
基本方針2	地域での相談体制、ネットワークを広げよう																										
3	事業名	多世代交流事業 ひとやすみ Y&M	児童福祉 担当																								
事業概要	<p>[事業の目的] 地域の乳幼児から子育て中の親子や妊産婦、高齢者までの多世代と交流するイベントを開催し、交流の機会を提供することで、地域での交流と子育ての支え合いを効果的に促進する（モデル実施）。</p> <p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 運営団体：早通健康福祉会館運営委員会 （スタッフは早通健康福祉会館の運営に協力している地域住民） 場 所：早通健康福祉会館 対象者：主に地域に住む乳幼児から子育て中の親子や妊産婦、高齢者 実施内容：子育て支援イベント…年間6回 																										
	事業実績	<p>[事業実績] 早通健康福祉会館を会場に、子育て支援イベントを6回実施。</p> <table border="1" data-bbox="395 1220 1270 1619"> <thead> <tr> <th>イベント開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月14日</td> <td>駄菓子屋</td> <td>子ども69名大人39名</td> </tr> <tr> <td>7月12日</td> <td>輪投げで遊ぼう</td> <td>子ども26名大人13名</td> </tr> <tr> <td>8月3日</td> <td>駄菓子屋</td> <td>子ども47名大人12名</td> </tr> <tr> <td>10月4日</td> <td>輪投げで遊ぼう</td> <td>子ども22名大人14名</td> </tr> <tr> <td>11月16日</td> <td>駄菓子屋</td> <td>子ども45名大人16名</td> </tr> <tr> <td>12月13日</td> <td>紙ヒコーキで遊ぼう</td> <td>子ども25名大人11名</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>子ども234名大人105名</td> </tr> </tbody> </table> <p>[課題と今後の方向性] 本事業を数年間実施し、同会館がこどもから高齢者まで多世代にとって親しみのある場所となったこと、また、他地域についても、出張児童館事業をコミュニティセンターや自治会館で実施することにより、ボランティアやあいさつを交わすなど多世代での交流が生まれてきていることから、本事業の目的達成のため、今年度をもって終了とする。</p>			イベント開催日	内容	参加者	6月14日	駄菓子屋	子ども69名大人39名	7月12日	輪投げで遊ぼう	子ども26名大人13名	8月3日	駄菓子屋	子ども47名大人12名	10月4日	輪投げで遊ぼう	子ども22名大人14名	11月16日	駄菓子屋	子ども45名大人16名	12月13日	紙ヒコーキで遊ぼう	子ども25名大人11名	合計	
イベント開催日		内容	参加者																								
6月14日	駄菓子屋	子ども69名大人39名																									
7月12日	輪投げで遊ぼう	子ども26名大人13名																									
8月3日	駄菓子屋	子ども47名大人12名																									
10月4日	輪投げで遊ぼう	子ども22名大人14名																									
11月16日	駄菓子屋	子ども45名大人16名																									
12月13日	紙ヒコーキで遊ぼう	子ども25名大人11名																									
合計		子ども234名大人105名																									

令和7年度北区健康福祉課主要事業

基本目標3	だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくり		
基本方針1	地域福祉活動の人材を発掘・育成しよう		
2	事業名	児童虐待防止の啓発 「要保護児童対策地域協議会研修会」	こども支援 担当
事業概要	<p>【事業の目的】 児童虐待等の相談に対して関係職員等が迅速、的確に対応し、かつ関係機関の支援・連携が円滑に行われるよう、資質向上を図る。</p> <p>【事業内容】 開催日 令和7年10月20日（月） 会 場 豊栄地区公民館 対 象 新潟市北区要保護児童対策地域協議会連絡会構成機関職員等 北警察署、北区教育相談室、北区教育支援センター、子育て支援センター、保育園、幼稚園、こども園、児童館、小学校、中学校、放課後児童クラブ、主任児童委員、北区健康福祉課 内 容 ①説明 北区の児童に関する現況について ②講演 北区健康福祉課長 ③地区ごとに分かれての情報交換会</p> <p>【要保護児童対策地域協議会について】 年間12回新潟市北区要保護児童対策地域協議会実務者会議を開催し、各関係機関と支援状況の報告と方向性を確認している。</p> <p>【実務者会議構成機関】 児童相談所、新潟北警察署、北区教育相談室、北区教育支援センター、主任児童委員、弁護士、市教委学校支援課、障がい者基幹相談支援センター東、北地域保健福祉センターなどの保健師や保護グループなど北区健康福祉課各担当</p> <p>【地区連絡会構成機関】 主任児童委員、新潟北警察署、北区教育相談室、北区教育支援センター、保育園、幼稚園、こども園、小学校、中学校、放課後児童クラブ、児童館</p> <p>【実務者会議のケース件数】 R6 27件（きょうだい事例はひとりにつき1件）</p> <p>【児童について新規相談で受け付けた件数（のべ）】 R6 178件</p>		

事業実績

[事業実績]

令和7年10月20日（月）開催

要保護児童対策地域協議会連絡会構成機関職員ほか 70名参加

○研修内容

- ・説明 北区のこども家庭支援に関する現況について
- ・講演 演題「要保護児童対策地域協議会における支援」
講師 北区健康福祉課長 吉田 潤
- ・地区別情報交換会

[課題と今後の方向性]

要保護児童等への支援をおこなっている関係機関等への研修は、より実践的な学びとなるように設定をしている。支援・連携が円滑に行われるための横のつながりを作るうえで非常に重要であるといえ、継続実施に努める。



令和7年度北区健康福祉課主要事業

基本目標3	だれもが活躍し、意欲にあふれる地域づくり		
基本方針2	だれもが参加し、活躍できる機会をつくろう		
1	事業名	ふゆっこまつり開催 「第18回北区ふゆっこまつり」	児童福祉 担当
事業概要	<p>【事業の目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戸外で遊べない冬の新潟で、親子で思い切り遊べる場を提供し、児童の健全育成と子育て支援の推進を図る。 ・ 事業を通し、子育て支援や児童健全育成に関わる個人・団体・ボランティアの交流・ネットワークを深め、地域で子育てを支え合う輪をつなぐ。 <p>【事業内容】</p> <p>主催 北区ふゆっこまつり実行委員会 主催者である実行委員は、区政推進のために「第1回ふゆっこまつり」の立ち上げから携わっている有志区民と商工会や社会福祉法人など各関係団体からの推薦者、新潟医療福祉大学の学生で構成されている。</p> <p>後援 新潟市教育委員会</p> <p>日時 未定</p> <p>会場 豊栄総合体育館</p> <p>対象 主に乳幼児から小学校低学年くらいまでの親子</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども遊びブース ・ ステージ ・ バザーブース ・ 飲食ブース（物販やキッチンカーなど） など 		
	事業実績	<p>【開催実績】</p> <p>日時：令和8年1月31日（土） 場所：北区役所・豊栄地区公民館 来場者数：1,200人（見込み）</p> <p>【課題と今後の方向性】</p> <p>実行委員の減少が顕著であるが、限られた人員の中での創意工夫を行い、事業継続を目指す。</p>	

新潟市北区子育て応援事業

第18回北区

ふゆっこ まつり

お弁当販売
もあるよ!

キッチンカーも
来るよ!

冬を元気に楽しもう! 今年のふゆっこまつりも
楽しいイベントがいっぱい!

入場
無料
有料ブースあり

2026年 1月31日(土)

11:00 ~ 15:00

会場 北区役所・豊栄地区公民館

★忍者手裏剣
シューティング★

- ★ゲームコーナー
- ★工作コーナー
- ★飲食コーナー
- ★福祉バザー
- ★スタンプラリー





大雪が見込まれる場合や災害が発生した場合など予告なく中止する場合がございます

主催：北区ふゆっこまつり実行委員会 後援：新潟市教育委員会

問合せ先 北区ふゆっこまつり実行委員会事務局 (北区役所健康福祉棟内) ☎025-387-1335

令和7年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり		
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう		
1	事業名	各種がん検診の周知	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的] がん検診受診率の向上を図るため、区内の医療機関や事業所等と連携し、啓発活動を進めるとともに、「区役所だより」・「コミ協だより」への掲載、検診カレンダーの全戸配布などを行い、検診の周知を図る。</p> <p>[事業内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 広報用ポスター・健康づくりミニブックを作成し、委託医療機関や調剤薬局へ検診周知協力を依頼 ② 検診カレンダー全戸配布 ③ 区だより掲載 年8回 ④ コミ協だより掲載 コミ協毎に検診日程にあわせて掲載 ⑤ 検診開催時PR ⑥ 健康教育や地域保健活動でPR ⑦ 北地区へ回覧板で周知 		
事業実績	<p>[事業実績]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 広報用ポスター・健康づくりミニブックを作成し、委託医療機関や調剤薬局へ検診周知協力を依頼 ② 検診開始前の4月に検診カレンダー全戸配布 ③ 区だより集団がん検診日程掲載 年8回 健康ひろばで10月に「がん」について掲載 検診PR ④ コミ協だより掲載 コミ協毎に検診日程にあわせて掲載 ⑤ 集団検診開催時、受診者へ個別にPR ⑥ 健康教育や地域保健活動でPR ⑦ 北地区へ回覧板で検診を周知 <p>[課題と今後の方向性] 今年度と同様に取り組みを行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ミニブック</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>検診カレンダー</p> </div> </div>		

令和7年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり		
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう		
2	事業名	特定健康診査の受診率向上	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的] 健康寿命の延伸および生活習慣病予防のため、特定健診の受診率を向上させる。</p> <p>[事業内容]</p> <p>① 国保新規加入者へ電話での受診勧奨 対象者：令和7年5月30日受診券送付者の内、新潟市国民健康保険加入者の60～68歳と40歳代の方。 今年度40歳になる新潟市の健診が初めての方。</p> <p>② 看護職による電話での受診勧奨 対象者：令和7年度、ミニドック対象者で受診率の低い40歳代、50歳代が中心。</p> <p>③ ミニドック型集団健診の実施 実施内容：特定健診のみ受診、またはオプションで各種がん検診（肺、胃、大腸、前立腺、乳）、ピロリ菌検査、肝炎ウィルス検査を選択できるものとする。 対象者：以下のいずれも該当する人 ・受診日当日に新潟市国民健康保険に加入している ・令和8年3月31日現在の年齢が40歳から74歳 ・令和6年4月1日以降、新潟市国民健康保険加入者対象の特定健診未受診（2年連続未受診者） 日 程：3日間（午前） 会 場：2会場（北地区コミュニティセンター、豊栄健康センター） 定 員：110人×3回=330人 周知方法：対象者に案内はがきを郵送する。 （令和7年5月末日受付分までを受診済とする）</p>		

事業実績

[事業の成果]

- ① 国保新規加入者への架電による受診勧奨
 - ・40代、60～68歳を対象に実施。不在の場合時間帯を変えて架電。
 - ・対象者216人中、通話できた人は166人。うち特定健診を受診した人数は27人(16.3%)で昨年度同時期の受診割合14.4%より増加。
 - ・本人と話ができた92人のうち、受診・予約済み12人、受診了承・受診検討66人(84.8%)が受診について前向きな反応。他14人は職場等で受診している、忙しい・通院中のため受診しないといった反応だった。
- ② 看護職による架電での受診勧奨
 - ・ミニドック対象者で受診率の低い40、50歳代を中心に実施。
 - ・コールセンター受付終了後は予約希望者をそのまま受付した。
 - ・架電者508人中通話できた人は309人。そのうちミニドックを受診した人数は28人(5.51%)で昨年度同時期の受診割合5.12%より増加している。
 - ・本人と話ができた中で、受診済20人、受診了承・受診検討83人が良い反応だった。
 - ・未受診理由は“忙しくて見通しが立たない”が一番多かった。次いで“医療機関通院中のため”“健康状態に問題がない”だった。
- ③ ミニドック型集団健診の実施

昨年度と同様3日間の実施で、定員は330人(110人/日)予約は142人。当日受診者は131人。

昨年度同様圧着ハガキで案内。予約期間中からの架電勧奨が効果的であったが、昨年度より予約者・受診者共に少なかった。

事業実績

特定健診対象者数	ミニドック案内発送数	受診数	案内者に対する受診率	ミニドックで増加する特定健診の受診率
10,869人	4,806人	131人	1.21%	1.21%

<特定健診受診者数・受診率>

特定健診受診率は、※現時点で16.85%と新潟市全体の16.76%を上回っている。昨年度同時期15.95%と比較すると0.90%増加している。(※令和7年11月5日までに国保連合会を經由し医療機関から提出された数)

[課題と今後の方向性]

- ・ミニドックの申込者が少ないため、次年度は2日間で実施する。
- ・国保新規加入者への架電、看護職による受診勧奨・ミニドックの受付は受診行動に対して効果があるため継続実施する。
- ・ミニドック型集団健診は、希望する内容の検診を一度に受診できる利点があり、案内が届くことで受診行動につながり受診率向上効果があるため、継続実施する。

令和7年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり										
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう										
5	事業名	北区もの忘れ検診	健康増進係								
事業概要	<p>[事業の目的] 認知機能が低下している高齢者を早期に発見し、認知症への移行を防ぐとともに、認知症の進行を遅らせるため、適切な治療・サービスにつなげる。</p> <p>[事業内容]</p> <p>① 北区もの忘れ検診の実施</p> <table border="1"> <tr> <td>対象者</td> <td>北区に住所を有する年度年齢65歳以上の新潟市国民健康保険加入者、新潟県後期高齢者医療制度加入者および生活保護受給者等のうち本検診を希望する人。また認知症の診断を受けたことがない人。</td> </tr> <tr> <td>実施医療機関</td> <td>北区内の13医療機関</td> </tr> <tr> <td>検診内容</td> <td>簡単な質問による検査(3項目)を特定健診・後期高齢者健診等受診時に実施。</td> </tr> <tr> <td>精密検査</td> <td>もの忘れ検診の結果、認知機能の低下が疑われる場合は、認知症診断医等の専門医療機関を紹介。</td> </tr> </table> <p>② 啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種検診受診券発送の際、同封している検診案内冊子にもの忘れ検診案内を掲載。 ・4月全戸配布の検診カレンダーに、もの忘れ検診案内を掲載。 ・チラシ・ポスターを作成し、医療機関や薬局などに配布。 <p>③ 会議出席、検討会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北区医師会班会議で報告 ・地域包括支援センター連絡会議にて報告、意見交換実施 ・検討会(実施医療機関医師)1回 <p>④ 北区もの忘れ検診通信の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北区もの忘れ検診実施医療機関、精密検査協力医療機関、地域包括支援センター等に、年1回発行する。 			対象者	北区に住所を有する年度年齢65歳以上の新潟市国民健康保険加入者、新潟県後期高齢者医療制度加入者および生活保護受給者等のうち本検診を希望する人。また認知症の診断を受けたことがない人。	実施医療機関	北区内の13医療機関	検診内容	簡単な質問による検査(3項目)を特定健診・後期高齢者健診等受診時に実施。	精密検査	もの忘れ検診の結果、認知機能の低下が疑われる場合は、認知症診断医等の専門医療機関を紹介。
	対象者	北区に住所を有する年度年齢65歳以上の新潟市国民健康保険加入者、新潟県後期高齢者医療制度加入者および生活保護受給者等のうち本検診を希望する人。また認知症の診断を受けたことがない人。									
	実施医療機関	北区内の13医療機関									
	検診内容	簡単な質問による検査(3項目)を特定健診・後期高齢者健診等受診時に実施。									
	精密検査	もの忘れ検診の結果、認知機能の低下が疑われる場合は、認知症診断医等の専門医療機関を紹介。									

[事業実績]

① もの忘れ検診実施状況 (R7.4~R7.12)

検診受診者	合計	構成比
合計	598	100.0%
異常なし	587	98.2%
要経過観察	3	0.5%
要精密検査	8	1.3%

合計受診者数 800 人 (1~3 月見込み 202 人含む)。

② 啓発活動

- ・ 4 月全戸配布の検診カレンダーに、もの忘れ検診案内を掲載。
- ・ 北区だよりへ年 2 回もの忘れ検診案内を掲載。
- ・ チラシ・ポスターを作成し、医療機関・薬局などに配布。
- ・ 健康づくりのミニブックに掲載。
- ・ 地域包括支援センター、支えあいのしくみづくり推進員など、地域の関係機関へ受診勧奨協力依頼。
- ・ 各種保健事業や地域活動の際に P R。

③ 会議出席、検討会開催

- ・ 7 月 15 日 医師会 15 班会議で実施状況を報告した。
- ・ 7 月 23 日 地域包括支援センター連絡会議にて現状報告し、地域包括支援センターのフォロー状況や検診に関する現場の声を聞いた。
- ・ 12 月 2 日 検診実施医療機関医師、精密検査協力医療機関医師、地域包括支援センター代表者と ZOOM 検討会を開催。要精密検査となった事例の症例報告や検診・精検・地域でのフォロー状況の報告に加え、意見交換や今後の取り組みについての検討を実施した。

④ 北区もの忘れ検診通信の発行


- ・ 検診への理解を深め、各機関が連携して検診を推進して行けるようもの忘れ検診実施医療機関、精密検査協力医療機関、地域包括支援センターに向けた「北区もの忘れ検診通信」を R8.2 月に発行予定。

[課題と今後の方向性]

実施医療機関や地域包括支援センターと連携して、多くの方が受診し、認知症の早期発見・早期対応につながるよう工夫し実施する。

事業実績

令和7年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり		
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう		
6	事業名	北区てくてくウォーク	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的] 運動習慣がない方に、運動を始めるきっかけをつくる。</p> <p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング体験を通して、ウォーキングの方法や効果の習得を支援。 ・運動普及推進委員と協働で、北地域と豊栄地域で各1回実施。 		
	<p>[事業成果・実績]</p> <p>① 北地域 5月27日 濁川公園周辺ウォーキング 36人参加</p> <p>② 豊栄地域 10月6日 福島潟周辺ウォーキング 22人参加 合計 2回実施 延58人参加</p> <p>・区だよりやコミセンだよりへの掲載、チラシの配布、また各種保健事業や地域活動の際にもPRし周知した。天候にも恵まれ、多くの方が参加した。参加者は「皆と一緒に歩くと楽しい」「良い運動になった」など大変好評であった。</p> <p>[課題と今後の方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の実施をふまえ、開催日やウォーキングの距離、コースなどについて、引き続き運動普及推進委員と検討し設定する。 		
事業実績			

令和7年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり		
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう		
7	事業名	健康増進普及講習会	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的]</p> <p>生活習慣病の一次予防を目的として、運動、栄養、休養等の生活習慣を柱に健康づくりを啓発普及するとともに、市民の健康づくりの定着を図るため、新潟市食生活改善推進委員協議会と共催し、地域のニーズを反映したテーマで講習会を実施する。</p> <p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 7月～2月 8回 ・会場 区内のコミュニティーセンター等 ・対象 一般市民 ・内容 栄養士による講話、簡単な体操、調理実習、調理デモンストレーション等 ・周知 チラシ、区役所だより、各地区広報誌等 		
	<p>[事業実績]</p> <p>調理実習を伴う集合型の他、地域の茶の間やサロンに出向いて講習会を行ったことにより、様々な対象者に向けて健全な食生活に関する知識の普及啓発を行うことができた。</p> <p>○調理実習を伴う講習会：4回（食推各グループ1回） 参加者延べ50人 テーマ：「野菜 de ちょいしお生活のすすめ」 主菜1品・副菜1品の調理実習、試食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食推の紹介により参加した方が多く、定員に対する充足率は96.1%、定員超えの会場もあった。参加者の反応も良く、アンケートでは97.9%が講話内容は「よくわかった」「わかった」、71.4%が「ぜひまた参加したい」との回答であった。また、「日頃の味付けがいかに濃いかがわかった。少しずつ食塩を減らしていきたい。」等の感想が多数寄せられた。 <p>○調理実習を伴わない講習会：4回（食推各グループ1回） 参加者延べ83人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食推のグループのない地域にも出向き、集合型と同じ内容で開催（調理実習とアンケートはなし）、食推の活動PRも行った。 		
事業実績			

[課題と今後の方向性]

調理実習を伴う集合型は、リピーターの参加が多いことが課題（36.0%が R6 年度も参加）。今後食推にはできるだけリピーターでない方にも声をかけていただくと同時に、他事業でのチラシ配布等、広報も行う。調理実習を伴わない出張型は、支え合いの仕組みづくり推進員とも連携し、食推のグループのない地域にも積極的に出向き、健全な食生活に関する知識の普及啓発をするとともに、食推の認知度向上に向けて活動PRを行う。



令和7年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり		
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう		
8	事業名	生活習慣病予防教室	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的] 脳血管疾患・高血圧・糖尿病重症化予防を重点とし、生活習慣病予防の知識普及、生活行動の改善・実施を目的とする。</p> <p>[事業内容] <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数：2回コース型講座を3回実施。 うち1回のコース1回目を公開講座とする。 単発の講座を1回実施。 ・開催日：5月～11月 ・会場：【2回コースの講座】 豊栄地区公民館、岡方コミュニティセンター、南浜公民館 【単発の講座】 北地区公民館 ・対象、定員： 【公開講座のみ（50名）】 おおむね40歳以上で高血圧・糖尿病予防等に関心のある方 【コース（20名）】 対象地域の住民のうち、概ね70歳未満で高血圧・糖尿病予防等に関心のある方 【単発の講座（30名）】 おおむね40歳以上で高血圧・糖尿病予防等に関心のある方 ・内容： 【公開講座・単発の講座】医師の話、保健師の話 【2回コース】保健指導、運動指導、食事指導、食事記録記入等 ※2回コース参加者に尿検査(推定食塩摂取量の検査)を実施(初回のみ) ・周知 チラシを健康センター等に設置、区役所だよりやコミセンだより等に掲載、地区活動でPR </p>		

[事業実績]

- ・ 2回コース参加者【豊栄地区公民館（公開講座含む）】延べ29人
【岡方コミュニティセンター】延べ8人
【南浜まちづくりセンター】延べ26人
- ・ 単発の講座参加者【松浜公民館】17人
- ・ 尿検査による推定食塩摂取量（2回コースのみ）
平均値：男性9.6g（目標7.5g未満）、女性8.9g（目標6.5g未満）
全体平均9.0g
- ・ 尿検査による推定カリウム摂取量の変化（2回コースのみ）
平均値：男性1,573mg（目標3,000mg以上）、
女性1,644mg（目標2,600mg以上）、全体平均1,637mg
- ・ 70歳以上の参加者が多かった。（72.1%）

○アンケート結果より

- ・ 「自分は減塩に気を付けている」と回答していた方でも尿検査の結果では食塩摂取量が多いことがあり、食塩摂取量を数値として確認できる尿検査は有効であり、参加者の関心も高かった。
- ・ 生活習慣の維持改善者の割合は高かった。教室参加前からすでに良い生活習慣となっている人も一定数おり、より良い習慣となるきっかけ作りとなった。

[課題と今後の方向性]

- ・ 令和8年度は2回コースを2回実施予定とし、2回とも医師による公開講座を含む内容とする。
- ・ 参加者の食塩摂取量を数値で確認できる尿検査を継続して実施する。（次年度は各コース2回ずつ実施予定。教室の前後で実施）
- ・ 参加者が伸びないことが課題であるため、より多くの方に参加してもらえるよう周知方法や内容を検討する必要がある。



令和7年度北区健康福祉課主要事業

基本目標4	健康で安心・安全な住みやすい地域づくり		
基本方針1	健康づくりの意識を高め、みんなで実践を進めよう		
9	事業名	フレイル予防	健康増進係
事業概要	<p>[事業の目的] 健康な状態と要介護状態の間であるフレイル(虚弱)を予防し、健康寿命延伸を目的に実施。フレイルチェックの実施と、各種健康教室、講座等を提供し、高齢者自身で生活習慣改善に取り組めるよう、コミュニティ協議会や支え合いのしくみづくり推進員、地域包括支援センターなどの関係機関やフレイルサポーター(元気高齢者ボランティア)などと連携して支援する。</p> <p>[事業内容] <拠点型> 会 場：北地区コミュニティセンター、葛塚コミュニティセンター 早通コミュニティセンター、岡方コミュニティセンター 日 程：各会場2回 計8回実施 対 象：65歳以上で参加希望の方(医師の運動制限のない方) 定 員：1回30人 内 容：フレイルチェック(簡易チェック、深掘チェック) 運 営：地域包括ケア推進課、フレイルサポーター・トレーナー</p> <p>●フレイル予防教室 1回目と2回目のチェック間に、各会場2回コースのフレイル予防教室を開催し、2回目のチェックに向けて参加者自らがフレイル予防に取り組めるような実践方法を学べるよう支援する。 葛塚コミュニティセンター会場については、R6年度同様 葛塚コミ協主催事業で実施する。</p>		
	<p><地域出前型> 地域の茶の間や老人クラブ等からの依頼により、フレイルサポーターが地域に出向き、簡易フレイルチェックを利用しフレイル予防の普及啓発を行う。</p>		

[事業実績]

〈拠点型〉

(R8.1～3月見込み含む)

	会場(コミセン)	北地区	葛 塚	岡 方	早 通	合 計
エチ ック	回 数	2 回	2 回	2 回	2 回	8 回
	延参加者数	54 人	48 人	20 人	38 人	160 人
教 室	回 数	2 回	コミ協主催	2 回	2 回	6 回
	延参加者数	27 人	事業へ統合	12 人	16 人	55 人

〈地域出前型〉

- ・フレイルサポーター、区職員が実施。
- ・地域の茶の間・老人クラブなどで開催 合計 10 回 参加者 165 人

〈フレイルサポーター養成・育成〉

- ・6月にフレイルサポーター会議を開催。北区サポーター25人中、会議出席者 17 人。
- ・フレイルチェック、予防教室、地域出前型の結果報告を行い、効果について検討共有した。
- ・サポーターより希望があり、10月に技術向上のため勉強会を開催した。北区サポーター25人中 17 人出席。
- ・地区担当保健師、支え合いのしくみづくり推進員や地域包括支援センターなど地域の関係機関が連携して支援し、サポーターが地域で予防活動に積極的に取り組んでいくことを確認した。

[課題と今後の方向性]

〈拠点型〉

- ・5会場でフレイルチェックを実施。(R8年度木崎地区新規開催)
- ・予防教室は会場ごとに開催方法について検討する。
- ・可能な限り地域関係機関と連携支援し開催する。

〈地域出前型〉

- ・関係機関と連携し、フレイルサポーターの協力を得て、拠点でのフレイルチェックと共に地域の茶の間などで簡易フレイルチェックを実施し、地域でのフレイル予防の普及啓発を図る。

〈フレイルサポーター養成・育成〉

- ・地域やフレイルチェック参加者よりフレイルサポーター候補を選出し、積極的にサポーター養成につなげる。
- ・サポーターが地域関係機関と連携して積極的に活動できるよう会議を開催し、情報共有や意見交換を行う。

